

# 学びの広場

2019

「問い合わせ」教育課 学校教育係 ☎(83)7023  
生涯学習係 ☎(83)7021

## 「いつでもどこでもだれでも」自由に学べる機会をー 生涯学習の推進に向けて

今月は、生涯学習の拠点である町民文化センターで実施したさまざまな学習事業を紹介いたします。

REPORT  
5/18(土)

### 地元の古文書を元に分かりやすく解説 古文書講座

講師：神奈川県立公文書館 上田良知さん



虫沢地区の古文書について上田さんが一字一字解説していただきました

中高校の方を中心とする28人の方が受講され、はじめに上田さんから、古文書を理解するために必要不可欠な江戸時代の社会情勢を知るために、村の仕組み(村方三役、五人組)の説明や年貢を取り立てる上での検地帳に基づいた通知(「年貢割付状」「年貢皆済目録」)、住民を管理する書類(「宗門人別改帳」)などが解説されました。その後、冊子『江戸時代の

**受講者の感想**  
「一字一字丁寧に説明していただいたので、よくわかりました。」  
「地元の古文書の解説なので親しみがあり、その当時の人々の生活の様子を少し見ることができました。」

REPORT  
5/23(木)

### すぐに役立つ PTA広報紙の 制作技術を解説 広報づくり研修会



講師：公立中学校  
元校長 望月男先生

前半では、PTA広報紙作りの基本について解説されました。良い記事を書くには、「頭ではなく、取材現場に行き、五感を働かせて文章を書く」「すつきりした文章にするには、要点だけに絞り、真実を正確に書く」「凝った文章

よりも、歯切れの良い文章を目指す」ことが大切であると述べられました。

また、記事として扱うことの多い「アンケート調査の結果報告」は、単に数字の集計結果だけではなく、内容の分析や考察を加え、賛成意見と反対意見の両方を載せ、内容によつては専門家に分析や解説をしてもらうといった実践的な手法について話されました。

最後に、昨年9月以降に発行された各校の広報紙の講評が行われ、参加者は次の広報紙制作に生かせるヒントをたくさん掴んだ様子でした。

### 今年で4年目を迎えました 教育活動支援事業

#### 寺子屋「まつだ」

今年も4月から月2回土曜日開催の「寺子屋まつだ」が始まりました。ティス先生による人気の英会話やそろばん、タブレット学習(算数・英語)、コーラス、ペン習字のほか、今年も中学生の英語・数学のサポートも



明るく楽しいティス先生による英会話教室

行っています(午後5時よ



中学生のサポート学習

り)。また、ボルダリング教室も開催します。

まだ定員に余裕がある講座もありますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。月2回の土曜日を、お子さんが楽しく学べる時間にしませんか。

また、夏休み期間中は、特別企画も予定しています(詳細は本紙7月号子ども版)。自由研究の機会としてぜひ活用してください。

### 松田 文化財探訪

#### 続・町指定文化財とその周辺 その3

文化財保護委員 鈴木 一行

#### 寄神社(二)

『寄神社由来記』という冊子があります。5名の氏子総代が発行人となつて平成17(2005)年に出版されたもので、執筆は福昌院住職で町文化財保護委員の平賀康雄さんが担当しています。地域に根付いたコミュニティづくりには、その地域の歴史・文化を共に学び合うことが不可欠だと思います。その意味でもこの冊子は良書であると言えましょう。



寄神社総代代表 熊沢 哲さん

さて今回、氏子総代代表の熊沢哲さんにお話を伺うことができました。氏子総代は弥勒寺、萱沼、三ヶ村(宇津茂・土佐原・中山)、大寺宮地、虫沢田代の5地区から一名ずつ出し、弥勒寺の総代が総代代表となること。つまり、江戸時代の東山家入七ヶ村がベースになつて選出されていることが分かります(宮地は大寺村の、田代は虫沢村の小字)。そして、総代代表に弥勒寺の人が就任するのは、神社の所在地という理由だけでなく、弥勒寺が七ヶ村の「原

村」(もとになった村)と伝えられているからではないでしょうか(『新編相模国風土記稿』による)。なお、宮司に関しては、戦前から専任の宮司は存在せず、現在は上秦野神社の神職が兼任しているとのことでした。

神社の運営は氏子数が減少していることもあり、なかなか大変なようです。「拝殿の回廊は傷んでいるし、石垣も崩れそう。隣に小学校があり、子供たちにとつても危険だから修理したいのだが、費用がね…」と熊沢さんの悩みは大きい。また、「自治会と神社の組織・行事は関連していることが多いので、宗教上のデリケートな問題にも配慮していかねばならない」ともおっしゃっていました。しかし、幼い時から慣れ親しんでいた例祭や祭囃子のことを嬉しそうに語る熊沢さんの姿はとても印象的でした。そして最後に「神道など、宗教の事はよく分からぬが、寄の文化を守り、未来に繋げるためにやっています。昔から伝わってきた『かたち』を大切に守っていくことが大事だと思っています」と話してくださいました。